

会議議事録

事業名	令和7年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」事業 (3)教職員の資質能力向上の推進① 効果的な教育成果の公開方法等に関する支援体制づくりの推進
代表校	一般社団法人全国専門学校教育研究会

会議名	第2回授業改善サポーター養成講座開発委員会
開催日時	令和7年8月25日(月) 13:00~15:00
場所	リファレンス駅東貸会議室
出席者	委員対面：小田 政江、合田 美子、田中 秀樹 委員OL：猪俣 昇、吉橋 大樹、足立 隆 計6名 請負業者：飯塚 正成 計1名 合計7名
議題等	<p>1. 開催概要</p> <p>本委員会は、今年度を実施する「授業改善支援講座」について、日程確定、NMS(LMS)移行状況、コミュニティ運営方針、アンケート実施状況、フォローアップ講座の企画、予算および継続性確保など、多岐にわたる重要事項の最終調整を行うことを目的として開催。</p> <p>2. 日程および実施形式の確定</p> <p>まず、本講座および付随するオリエンテーションの日程が協議され、以下の通り正式に確定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 事前オリエンテーション 9月25日(木) 15:30開始 授業後でも参加しやすい時間帯を考慮し設定。この場で講座全体の流れおよびコミュニティ参加の呼びかけを行う。 ● 本講座 第1回：10月7日(火) 対面(東京/御茶ノ水周辺) 会場はデジタルハリウッド細野氏に依頼。予算は7万円を目安としつつ、最大10万円までの上振れを許容する方針で合意。 第2回：11月4日(火) 14:00-17:00 オンライン実施 第3回：12月1日(月) オンライン実施 ※当初12/2予定であったが、合田先生の授業時間調整のため前倒し。

● 募集スケジュール

募集締切は9月15日前後まで延長する案で合意。9月10日時点の応募状況を確認し、不足する場合は法人への個別営業(特に既接点校)を強化する。

3. NMS (LMS) 移行状況および運用方針

昨年度のコンテンツ(文科省成果物、動画、課題、学習導線等)のNMS移行作業が進捗中であり、細野氏および山下氏と連携しながら年度内の運用開始に向けて準備を進める。

移行完了日はSlackで共有し、受講者向けに体験アカウントも付与予定。

LMS内では、コース紐づきグループと横断グループの双方でコミュニケーション機能が利用可能。

ただし、アカウント失効により翌年度以降の継続利用が難しいため、Facebookグループとの併用(長期はFacebook主軸)が最適との判断で一致した。

4. アンケート実施状況(受講生・上司)

● 受講生成果物の公開可否

11名が公開可としており、最終締切後(8/20)にバランスを見て選定する。

● 受講生アンケート

8/20に締切。集計後に全体傾向を共有する。

● 上司アンケート

12名が回答協力可。BCCではなく「個別連絡」で丁寧に依頼する。合田先生の提案に基づき設問を改善済み。また、2年前受講者の上司に対しては、事業趣旨説明を加えて記憶喚起を図る。人事異動が多いため、所属長宛に案内を併送する。

● 留意事項

受講後の実践度の差異は、モチベーションよりも業務変更や多忙さなど外的要因によるものが多い。

次回募集では、**「帰任後に授業改善を担える教員」**を優先推薦すると効果が高いとの意見が共有された。

	<p>5. コミュニティ運営方針</p> <p>授業改善を継続的に支援するため、オンラインコミュニティの設計について検討した。</p> <ul style="list-style-type: none">● リーダー候補 KBC・崎原先生／山川先生、IC 浅野先生、今津氏、田中先生等、3～4名がコミュニティ発信を担う想定。● リーダーの役割 週1回程度の情報発信 月1回のオンライン小集会の企画 質問投稿に対するモデレーション（1週間無反応の場合は必ずコメント）● 運用スケジュール 11月頃からコアメンバーで先行運用 12月までに既受講者を招待 1月に新受講者を合流 同一校から複数名の参加が継続実践に有効であるとの事例も共有された。

以上